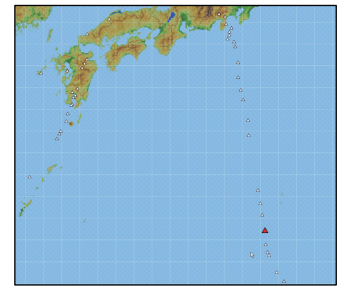


73. 噴火浅根 Funka Asane

北緯 25° 27.3′ 東経 141° 14.3′ 水深-20m (山頂中央部)



概要

北硫黄島は玄武岩の成層火山であるが、侵食が進んでおり、噴火記録はなく、噴気地熱現象も認められない。島の北西 4~5km ほどの洋上では海底噴火が記録されており、その周辺を漁業関係者は“噴火浅根”と称している。海徳海山とともに「北硫黄島付近海底火山」と呼ばれることもある。

地形図

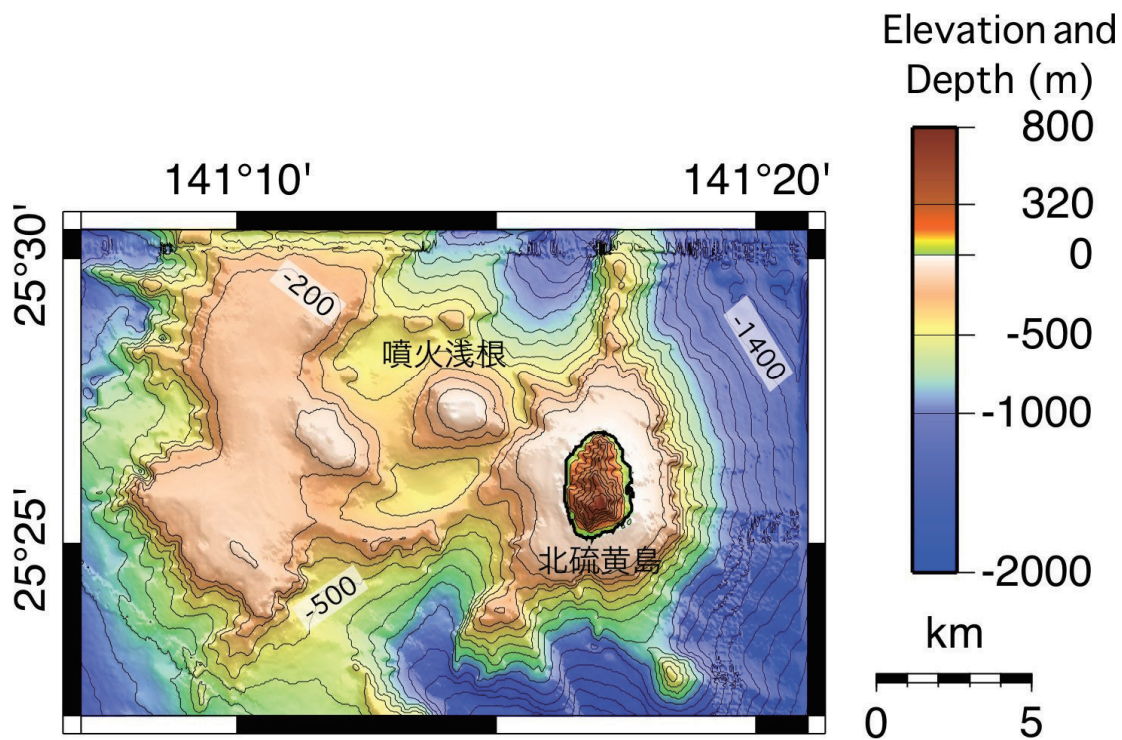


図 73-1 噴火浅根周辺の海底地形図 (海上保安庁海洋情報部).

地質図

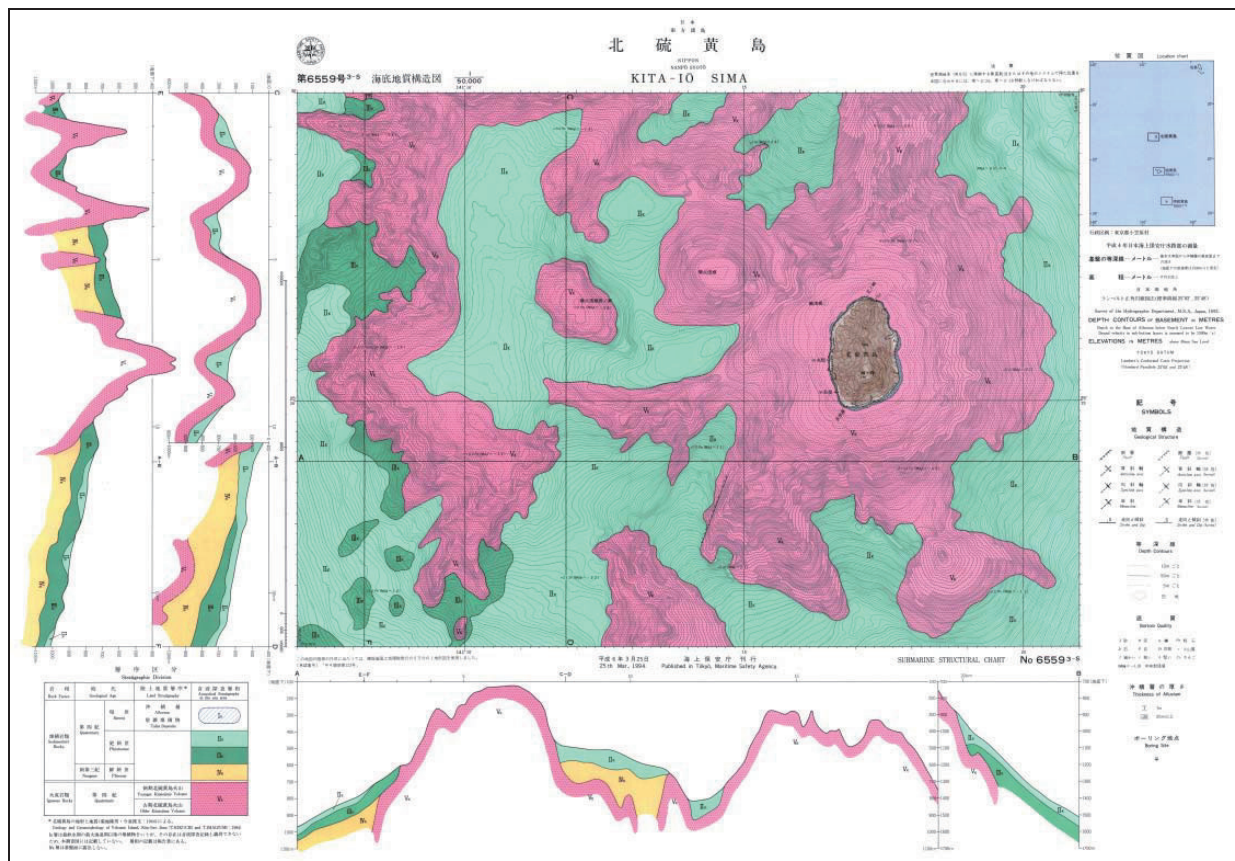


図 73-2 噴火浅根の地質構造図 (海上保安庁, 1994¹⁾。

噴火活動史

・有史以降の火山活動 (▲は噴火年を示す)

年代	現象	活動経過・被害状況等
▲1780(安永 9)年 2, 11, 12	噴火 ²	噴火場所は噴火浅根 ^{2, 11, 12} 。
▲1880(明治 13)年 2, 11, 12, 14	マグマ噴火 or マグマ水蒸気 噴火? ^{2, 11, 12, 14}	噴火場所は噴火浅根 ^{2, 11, 12, 14} 。 海中から泥土、灰を伴う火炎噴出。
▲1930~45(昭和 5~ 20)年 ^{2, 12}	マグマ噴火 or マグマ水蒸気 噴火? ^{2, 12}	噴火場所は噴火浅根 ^{2, 12} 。 漁船の観測によると火炎・噴煙・硫黄・泥土・軽石・水柱等の噴 出が毎年 2~3 回あった。
1953(昭和 28)年 ¹²	海水変色 ¹²	5 月。白濁、硫黄臭。
1968(昭和 43)年 ¹²	海水変色 ¹²	8 月。
1982(昭和 57)年 ¹²	海水変色 ¹²	6 月。
1983(昭和 58)年 ¹²	海水変色 ¹²	7 月。
1987(昭和 62)年 ¹²	海水変色 ¹²	8 月。
1989(平成元)年 ¹²	海水変色 ¹²	7 月。
1997(平成 9)年 ^{3, 13}	海水変色 ^{3, 13}	3 月 10 日。
1998(平成 10)年 4, 5, 13	海水変色 ^{4, 5, 13}	5 月 21 日、10 月 27 日。噴火浅根、及び噴火浅根の南東方約 500m の海域 ^{4, 5, 13} 。
1999(平成 11)年 6, 12, 13	海水変色 ^{6, 12, 13}	9 月 7、16 日。

(73. 噴火浅根)

噴火年代	現象	活動経過・被害状況等
2000(平成12)年 7, 12, 13	海水変色 ^{7, 12, 13}	1月25～26日。
2000(平成12)年 6, 12, 13	海水変色 ^{6, 12, 13}	10月30日。
2001(平成13)年 12, 13	海水変色 ^{12, 13}	10月29日。
2002(平成14)年 9, 12, 13	海水変色 ^{9, 12, 13}	2月28日。
2003(平成15)年 8, 10, 12, 13	海水変色 ^{8, 10, 12, 13}	3月10日、11月4日。
2007(平成19)年～ 2012(平成24)年 ¹³	海水変色、気泡湧出 ¹³	時々、海水変色、気泡湧出を視認 ¹³ 。

※噴火イベントの年代、噴火場所、噴火様式等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住, 2006-)および海域火山データベース(海上保安庁海洋情報部, 2006)を参考に、文献の追記を行った。

【引用文献】

- 海上保安庁(1994)北硫黄島 日本・南方諸島：海底地質構造図。沿岸の海の基本図(5万分の1), 6559³⁻⁵, 海上保安庁。
- 小坂丈予・他(1994)海底火山“噴火浅根”の近年の活動状況について。日本火山学会講演予稿集1994, **2**, 204。
- 海上保安庁水路部(1997)海底火山等の最近の活動について。火山噴火予知連絡会会報, **68**, 100-103。
- 海上保安庁水路部(1998)海底火山等の最近の活動について。火山噴火予知連絡会会報, **71**, 115-117。
- 海上保安庁水路部(1999)海底火山の最近の活動について。火山噴火予知連絡会会報, **73**, 108-111。
- 海上保安庁水路部(2000)海底火山の最近の活動について。火山噴火予知連絡会会報, **75**, 119-121。
- 海上保安庁水路部(2001)海底火山の最近の活動について。山噴火予知連絡会会報, **76**, 123-126。
- 海上保安庁海洋情報部(2003)海底火山の最近の活動について。火山噴火予知連絡会会報, **85**, 112-113。
- 海上保安庁海洋情報部(2003)海底火山の最近の活動について。火山噴火予知連絡会会報, **82**, 107-109。
- 海上保安庁海洋情報部(2004)海底火山の最近の活動について。火山噴火予知連絡会会報, **87**, 118-122。
- 伊藤弘志・他(2012)日本周辺海域火山通覧(第4版)。海洋情報部研究報告, **48**, 41-73。
- 気象庁(2005)噴火浅根。日本活火山総覧(第3版), 449-450。
- 海上保安庁海洋情報部(2006)海域火山データベース
(<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/GIJUTSUKOKUSAI/kaiikiDB/list-2.htm>)。
- 大森房吉(1918)日本噴火志, 上編。震災予防調査会報告, **86**, 1-236。

関係する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
東京火山監視・情報センター	(気象庁本庁) 東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-8341
東京管区气象台総務部業務課	東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-2949